

## 令和3年度:学校評価アンケートの結果について

◆令和3年11月に生徒・保護者・教職員を対象に実施した学校評価アンケートの分析結果をお知らせします。アンケート回収率は、生徒が93%、保護者が70%でした。保護者の皆様のお考えをよりよく反映させるため、今後もアンケートへのご協力をお願いいたします。

	内 容	単位:%	生徒	保護者	教員
生活一般	1 学校生活を楽しんでいる。	1: そう思う	66%	60%	86%
		2: やや思う	28%	35%	14%
	2 本校に入学してよかった。	1: そう思う	60%	60%	71%
		2: やや思う	33%	33%	29%

### 【生活一般】に関する項目

◆1,2では、生徒・保護者・教員ともに93%以上で「そう思う」「ややそう思う」とする肯定的な回答を得ている。落ち着いた環境で学習に取り組む、安心して楽しく学校生活を送ることができるよう、これまでの取り組みを引き続きおこなっていく。

	内 容	単位:%	生徒	保護者	教員
授業・学習関係	3 教員の授業は分かりやすい。	1: そう思う	37%	17%	36%
		2: やや思う	50%	46%	64%
	4 教員は、「分かりやすい授業」を行うために学習指導方法を工夫・改善している。	1: そう思う	57%	22%	43%
		2: やや思う	35%	52%	57%
	5 少人数習熟度別授業は、成果をあげている。(数学・英語)	1: そう思う	44%	21%	50%
		2: やや思う	39%	49%	36%
	6 教員は、評価・評定の方法を生徒に十分に説明している。	1: そう思う	68%	29%	64%
		2: やや思う	27%	50%	36%
	7 教員は、評価・評定を適正に行っている。	1: そう思う	66%	29%	64%
		2: やや思う	27%	50%	36%
	8 学校が推進する家庭学習の励行を理解して実践している。(毎日、塾を含めて予習・復習をしていますか)	1: そう思う	30%	15%	21%
		2: やや思う	42%	42%	57%
9 学力は向上している。	1: そう思う	27%	15%	7%	
	2: やや思う	41%	37%	71%	

### 【授業・学習関係】に関する項目

◆3, 4については、生徒の90%前後が肯定的な回答であるが、今後は「そう思う」という強い肯定が増加するように、また、否定的な回答の10%強の生徒に対する「分かりやすさ」を心がけて、授業の工夫・改善を行っていききたい。授業の「分かりやすさ」については、教員の学習指導の工夫・改善の様子が保護者にも見えるよう、学校公開日などの機会を通じて授業の様子を伝えていきたい。

◆6,7の評価・評定については、生徒・保護者ともに「方法の説明」や「評価の適正」について、79~95%が肯定的な回答であるが、今年度から観点別評価が3観点に変更になっているので、評価方法の変更点について生徒・保護者の理解を深めていきたい。教員も新たな評価の変更点について研修などを通して理解を深め、「適正な評価」としての信頼性を高めていきたい。

◆8,9の家庭学習については、保護者の肯定的な回答は52%で、「学力の向上」については引き続きの課題である。「学力定着」のためには「家庭学習の習慣づけ」も大切である。学校での「放課後補習」や「土曜補習」をきっかけに、少しずつ継続的な学習ができるようにしていきたい。大人が寄り添い見ていくことが大切であり、小学校との連携や家庭の協力を得ながら、「生徒の学習習慣をつける」から「学力の定着」につなげていきたい。

	内 容	単位:%	生徒	保護者	教員
生活指導関係	10 学校は、学級指導・生徒指導・道徳指導を通して、以下の事項を柱にして指導を行っています。それらは、達成されていると思いますか。 ・あいさつ、返事 ・あつまり ・あとしまつ	1: そう思う	53%	42%	29%
		2: やや思う	39%	46%	71%
	11 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに積極的に取り組んでいる。	1: そう思う	46%	36%	50%
		2: やや思う	37%	51%	50%
	12 教員は、生徒を理解して相談事や悩みについて親身に対応している。	1: そう思う	49%	36%	43%
		2: やや思う	36%	50%	57%
	13 保護者は、生徒の良いところや改善すべきところを理解している。	1: そう思う	61%	40%	14%
		2: やや思う	30%	54%	64%
	14 学校は、環境美化(清掃活動・美化デー)に積極的に取り組んでいる。	1: そう思う	60%	40%	50%
		2: やや思う	33%	52%	43%
	15 学校は、生徒や保護者に学級や学校の様子を便りや保護者会・面談などで積極的に知らせている。	1: そう思う	61%	49%	57%
		2: やや思う	33%	44%	43%
	16 生徒は、学校からの各種の便りやお知らせなどの配布物を保護者に見せている。	1: そう思う	55%	48%	7%
		2: やや思う	27%	24%	36%
	17 大森一中生は、年度当初より生活面で向上している。	1: そう思う	52%	36%	64%
		2: やや思う	34%	53%	36%
	18 学校は、進路選択に必要な情報の提供と進路相談を適切に行っている。	1: そう思う	55%	32%	64%
		2: やや思う	35%	45%	36%
19 学校は、「生きる力」を育むために進路指導として、1年「職業調べ」、2年「職場体験・上級学校調べ」、3年「面接指導」を行っています。これらの活動は生徒に役立っている。	1: そう思う	66%	48%	86%	
	2: やや思う	26%	46%	14%	

【生活指導関係】に関する項目

- ◆10では、あいさつ、返事・あつまり・あしまつを柱とした指導について、88～92%の肯定的回答を得ている。11,12では、いじめや暴力のない学校づくり、悩み事への対応などについて、83～87%の肯定的回答を得ているが、「そう思わない」という声も10%以上あり、スクールカウンセラーや外部機関との連携を強化し、悩み事を相談しやすい体制づくりに努め、生徒にとって安全、安心な学校環境作りに取り組んでいきたい。
- ◆13では、生徒、保護者の肯定的回答が90%以上に対して教員は78%である。面談などを機に、生徒一人一人の良さを改善すべき課題を学校と家庭で共通理解し、ともに見守りながら子どもたち一人ひとりの良さを伸ばしていきたい。
- ◆15では、生徒・保護者ともに肯定的回答が93%以上である。毎月の学校便りと毎週の学年便りにより、学校生活の様子や大切な情報をお伝えし、感染症拡大に伴う行事予定の変更などについては、説明会を開いて保護者に直接説明をおこなった。
- ◆19では、昨年度、感染症拡大のために実施できなかった「職場体験」を、今年度は実施することができた。生徒・保護者の肯定的評価も92～94%であった。これからも「生きる力」を育てるために、体験活動や校外活動を役立てていきたい。

	内 容	単 位 : %	生 徒	保 護 者	教 員
特別活動	20 生徒会活動や委員会活動は充実している。	1: そう思う	64%	37%	71%
		2: やや思う	28%	54%	21%
	21 学校行事は楽しく充実している。	1: そう思う	70%	40%	79%
		2: やや思う	23%	48%	21%
	22 部活動は充実した活動になっている。	1: そう思う	69%	41%	57%
		2: やや思う	19%	41%	43%

【特別活動】に関する項目

- ◆20～22は、生徒会活動、学校行事では、生徒・保護者から81～93%の肯定的評価を得ている。今年度も感染症拡大の影響により、行事は制限付きでの実施となり、保護者からは以前のような形での実施を望む声とともに、安全に配慮した形での実施にご理解もいただいた。部活動では、82～88%の肯定的評価であった。感染症拡大に伴い制限がある中での活動となったが、健康管理の習慣を身に付けながら活動することができた。

	内 容	単 位 : %	生 徒	保 護 者	教 員	
その他	23 学校は地域の力(保護者以外)を生徒の教育活動に活かしている。	1: そう思う	43%	23%	36%	
		2: やや思う	42%	53%	36%	
	24 生徒は地域の一員として自覚をもち、地域の活動に貢献している。	1: そう思う	39%	21%	36%	
		2: やや思う	35%	49%	43%	
	25 学校は、リサイクルや節電・節水などのエコ教育に積極的に取り組んでいる。	1: そう思う	41%	24%	29%	
		2: やや思う	40%	52%	43%	
	26	① 家庭で学校生活について話をしている。	1: はい	78%	86%	71%
			2: いいえ	22%	14%	29%
		② 学校便り「しおかぜ」・学年便りを読んでいる。	1: はい	73%	85%	93%
			2: いいえ	27%	15%	7%
		③ 学校のホームページを見たことがある。	1: はい	55%	27%	93%
			2: いいえ	45%	73%	7%
	④ 生徒は来校者(他校の先生、保護者、地域の方)に元気に挨拶をしている。	1: はい	89%	99%	100%	
		2: いいえ	11%	1%	0%	
	⑤ 本校の行事(運動会・音楽祭その他の行事)にPTAが積極的に関わっている。	1: はい	75%	88%	86%	
		2: いいえ	25%	12%	14%	
	⑥	家庭の「しつけ」で、最も力を入れていることは何ですか。(いくつでも○をして下さい)〔数字は%〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ (生徒: 21 保護者: 43 教員: 70)</li> <li>・学習 (生徒: 36 保護者: 69 教員: 38)</li> <li>・起床、就寝 (生徒: 57 保護者: 54 教員: 29)</li> <li>・生活習慣 (生徒: 57 保護者: 48 教員: 57)</li> <li>・善悪の区別 (生徒: 71 保護者: 28 教員: 70)</li> <li>・服装 (生徒: 14 保護者: 19 教員: 9)</li> <li>・金銭 (生徒: 36 保護者: 33 教員: 37)</li> <li>・食事 (生徒: 36 保護者: 40 教員: 36)</li> </ul>				

【その他】に関する項目

- ◆24では、感染症拡大防止のため、カサゴ稚魚放流と池上自動車教習所をお借りした自転車安全教室は中止となったが、昨年度できなかった職場体験は実施することができた。また、羽田空港出前講座を実施することになった。今後も健康と安全を第一に考えながら、生徒が地域の一員としての自覚を伸ばせるよう、地域と協力して教育活動を進めていきたい。
- ◆25のエコ教育についての肯定的評価は76～81%である。小学校での学びも生かしながら、SDGs(持続可能な開発目標)実現のための取り組みの一つとして、エコ教育に関する学習を進めていく。
- ◆26①②④⑤では、「はい」が生徒で73～89%、保護者で85～99%以上であり、家庭で学校の話をする／学校便り等を見ている／生徒は挨拶をしている／行事にPTAが積極的に関わっている、について肯定的評価が多かった。
- ◆26③では、「はい」の割合は生徒55%・保護者27%であり、昨年度より10ポイント程度減少した。昨年度は、ホームページを通じて感染症拡大に関する情報の発信が多かったため、「はい」の割合が多かったと思われる。これからも状況に応じて、学校緊急連絡システム(メール連絡網)や学校ホームページによる情報発信をおこなっていく。
- ◆26⑥については、家庭の「しつけ」で保護者が力を入れているものとして、昨年度と比べてると、「学習」が27ポイント、「起床、就寝」が15ポイント増加している一方、「あいさつ」と「生活習慣」は10ポイント程度、「善悪の区別」は30ポイント程度減少している。

【本年度の学校評価アンケート集約結果より】

- ◆今年度は保護者のアンケート回収率が11ポイント減少し70%であった。少しでも多くの声が集約できるようアンケートへのご協力をお願いいたします。昨年度と比較すると、「学校生活を楽しんでいる」「本校に入学してよかった」について、保護者の「そう思う」との回答がどちらも9ポイント増加した。昨年度は感染症拡大防止の取り組みにより多くの活動が制限されてきたが、今年度は安全に配慮しながら、できる範囲での充実した活動を計画し、その実施に取り組んできた成果であると考えたい。「学校に対する意見や要望」の記述回答では、行事を以前のような形で実施してほしいというご意見があった一方、いろいろな制限の元、安全に配慮した形での実施にご理解の声もいただいた。これからも安全に配慮した対策をおこないながら、生徒が達成感を得られることを目指し、学習や行事など充実した学校生活が実現できるよう取り組んでいきたい。また、校則の見直しについても評価する声をいただいた。今後も生徒がしっかりと考えることに重点を置き、学校のルールや決まりについて考えていきたい。